

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 4 月 14 日

Table with columns for 事務事業名 (土砂災害対策事業), 事業区分 (新規/継続, 単独/補助), 担当 (040101000350), 所属課 (060101), 政策体系 (総合計画の施策名, 政策名, 施策名, 基本事業名), 財務会計上の位置付け (一般会計, 災害対策事業), 予算科目 (01, 09, 01, 04, 01, 00), 法令根拠 (土砂災害防止法).

(Do) 1. 事務事業の現状把握 (その1)

Table with 2 columns: ①事務事業の概要 (事務事業の全体像) and ②担当者が行う業務の内容・やり方・手順. Includes details on disaster prevention measures and patrol activities.

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

Table with 6 columns: ①手段 (担当者活動内容), ④活動指標 (活動量を表す指標), 単位, 27年度 (実績), 28年度 (実績), 29年度 (計画), 30年度 (目標), 31年度 (目標). Includes data for patrol activities and population targets.

(3) 投入量 (事業費) の推移

Table with 7 columns: 27年度 (実績), 28年度 (実績), 29年度 (計画), 30年度 (目標), 31年度 (目標), 期間限定総投入量. Includes sub-tables for 事業費 (国庫支出金, 県支出金, etc.) and 人件費 (正規職員従事人数, etc.).

Table for 事業費の内訳 (Breakdown of Business Expenses) with columns for 28年度事業費実績 (千円) and 29年度事業費予算 (千円).

(4) 当該年度の実施内容

Table with 4 columns: 29年度の事業内容, 30年度の事業内容, 31年度の事業内容. Includes a note: ※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する (Main business, Mayor Manifesto, etc.).

| | | | | | |
|-------|----------|---------|-------------|-----|-----|
| 事務事業名 | 土砂災害対策事業 | 事務事業No. | 40101000350 | 所属課 | 建設課 |
|-------|----------|---------|-------------|-----|-----|

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

| | |
|--|--|
| (5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 平成11年6月に広島県で発生した土砂災害がきっかけとなり、土砂災害防止法(平成13年4月1日施行)が制定された。これにより県において、土砂災害警戒区域・特別警戒区域の指定を進めると共に、市では法律で義務付けられた土砂災害ハザードマップの作成・配布し啓発を図ってきた(平成20、24、27年度)。警戒区域等の指定は、県において平成18年度から順次進められ、平成25年3月7日の指定をもって桜川市全域の指定が完了した。 | |
| (6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 警戒区域等の指定はやむを得ないが、簡単に引越すことはできないため、土石流等を防止する工事の施工を要望している。 | |
| (7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 現状維持 抜本的な土砂災害対策工事は、県事業で行われているが、莫大な経費がかかることからハード事業は困難である。しかし、特に危険な地域については、県と協力して対策を促進する。意識啓発については、土砂災害ハザードマップ等を活用して市民に周知を図る。 | |

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

| 評価項目 | |
|-----------|--|
| 目的 妥当性 | ①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 土砂災害の危険がある場所を把握する、周知することにより、市民の安全を守る。 |
| | ②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市民の安全を守ることは市として当然のことであり、妥当である。 |
| | ③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない 現状が適切である。 |
| 有効性 | ④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 土砂災害の危険箇所について把握できなくなれば、警戒ができなくなってしまう。 |
| | ⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) → 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 同様の事業がないため。 |
| 効率性 | ⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ハザードマップの作成・配布も終了しており、特別な事業費はないため。 |
| 公平性 | ⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 問題なく公正である。 |

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|----|--|----|----|-----|--|--|----|----|----|----|----|--|--|--|----|--|---|---|----|--|---|---|
| (1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり | | (2) 全体総括(振り返り、反省点) 前年度に対象地域に対してハザードマップの配布を行ったが、まだ完全に周知されたいは言い難い。また、警戒区域に指定された地域に対する制限など、関係部署との連携が不可欠ある。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う → <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる | | (4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> | | | コスト | | | 削減 | 維持 | 増加 | 成果 | 向上 | | | | 維持 | | ○ | × | 低下 | | × | × |
| | | コスト | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 削減 | 維持 | 増加 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成果 | 向上 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 維持 | | ○ | × | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 低下 | | × | × | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| (5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 抜本的な土砂災害対策工事は、県事業で行われているが、莫大な経費がかかることからハード事業は困難である。しかし、特に危険な地域については、県と協力して対策を促進する。意識啓発については、土砂災害ハザードマップ等を活用して市民に周知を図る。 | | (6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

| | |
|--|---|
| (1) 課長評価 課長確認後の評価 <input type="checkbox"/> A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 <input type="checkbox"/> B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出 | (2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/> |
|--|---|